

# 白鷹町環境シンポジウム

## 「恵み豊かな森林の保全」



私たちに多くの恵みをもたらしている森林。その森林の荒廃が進み、大きな課題となっています。豊かな森林を環境資源として未来に引き継ぐため、新たな取り組みをはじめた事例を紹介いただき、森林とうまくつき合っていく仕組みづくりについて考えます。

- ◆日時 2月25日(水) 午後6時～7時45分  
開場 5時30分
- ◆会場 白鷹町文化交流センター あゆーむ

### 【第1部】 活動事例発表

- ◇NPO法人 しらたか地域再生ネットワーク
- ◇しらたか木の駅プロジェクト実行委員会
- ◇白鷹町美しい郷づくり推進会議

### 【第2部】 パネルディスカッション

- コーディネーター  
東北芸術工科大学教授 三浦秀一氏
- パネラー 事例発表者

※定員は200人(先着順)です。

入場は無料ですので、お気軽にご参加ください。

■問い合わせ 白鷹町美しい郷づくり推進会議事務局  
町民課くらし環境係 ☎85-6131

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク  
**見守り支え合い**  
お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します  
認知症・介護に関するご相談は  
地域包括支援センター Tel.86-0112

## 認知症サポーターを ご存じですか？

12月6日、健康福祉センターで、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。講師の黒田加代子さんから認知症サポーターの役割、認知症の症状や早期診断と治療の重要性、認知症の方への具体的な関わり方について教えていただきました。

### ◇認知症サポーターの役割

何か特別なことをするのではなく、認知症について正しく理解してもらい、自分のできる範囲で認知症の方や家族を応援してもらう。

### ◇認知症の方への姿勢

- ①驚かせないこと
- ②急がせないこと
- ③自尊心を傷つけないこと

具体的には

- ①まずは見守る
- ②余裕を持つて対応する
- ③声をかけるときは一人で
- ④後ろから声をかけない
- ⑤相手に視線を合わせ優しい口調で
- ⑥穏やかに話つきりとした口調で
- ⑦相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する など

講座に参加された108名の方には認知症サポーターの証「オレンジリング」をお配りしました。講演後のアンケートでは「介護者の話をゆっくり聞いて寄り添ってあげようと思った」「常日頃から声がけをしていきたい」「近所付き合いを大切にしていきたい」というような声が多く聞かれました。

また、受講者の約3割の方に実際に認知症の家族がおり

介護経験がありました。頭の中ではわかっているつもりでも実際に行動していきけるか考えさせられました」との声もありました。

オレンジリングをつけている方が「認知症サポーター」であることを示し、認知症の理解者であり応援者です。オレンジリングをつけている方が増え、認知症の方とその家族が、そして自分が認知症になった時にも、安心して過ごしていける町をつくっていきましょう。



認知症サポーターの証「オレンジリング」

■認知症に関する相談・問い合わせ

健康福祉課地域包括支援センター ☎86-0112